

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第49週の発生動向

□ トピックス

・梅毒(全数報告の感染症)

49 週までの診断週による累計報告数が 152 例となった。0 歳から 90 歳代までの幅広い年齢層から報告があがっている。

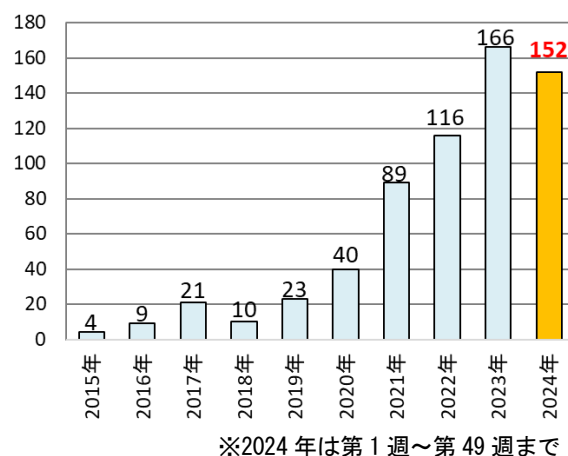
性別は男性が 73 例、女性が 79 例で、年齢群別では、20 歳代から 30 歳代が全体の約 6 割を占めている。また、保健所別では宮崎市保健所管内からの報告が最も多く、89 例となっている。

【梅毒】2024 年(第 1 週～第 49 週) 年齢別報告数

0～4歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
1	13	57	32	20

50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
10	13	2	3	1

【梅毒】診断週による 年別累計報告数の推移



□ 全数報告の感染症 (49 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 1 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：つつが虫病 3 例、日本紅斑熱 1 例。
- 5 類感染症：梅毒 8 例、播種性クリプトコックス症 1 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	80歳代	女	疑似症患者	左胸水
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	都城	0～4歳	女	—	水様性下痢、血便、O111(VT1)
4類	つつが虫病	都城	60歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		小林	70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
			80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
	日本紅斑熱	宮崎市	90歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常、水疱
5類	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
		都城	60歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		延岡	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
		小林	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
		日向	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹
	播種性クリプトコックス症	日南	80歳代	男	—	発熱、呼吸器症状、真菌血症

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,144人(定点当たり28.9)で、前週比108%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は412人(7.1)で、前週比165%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.8)の約1.9倍であった。高鍋(15.5)、中央(15.5)、延岡(9.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約7割を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

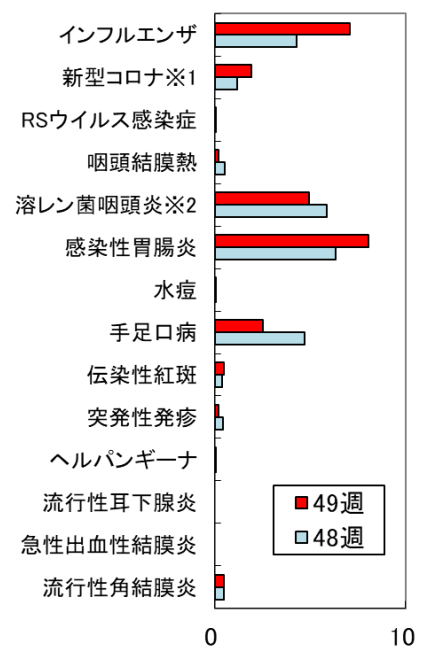
報告数は112人(1.9)で、前週比165%と増加した。日向(3.0)、小林(2.8)、延岡(2.6)保健所からの報告が多く、年齢群別は60歳以上が全体の約3割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は290人(8.1)で、前週比127%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(13.7)の約0.6倍であった。中央(25.0)、小林(16.0)、宮崎市(10.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から6歳が全体の約7割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015―2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

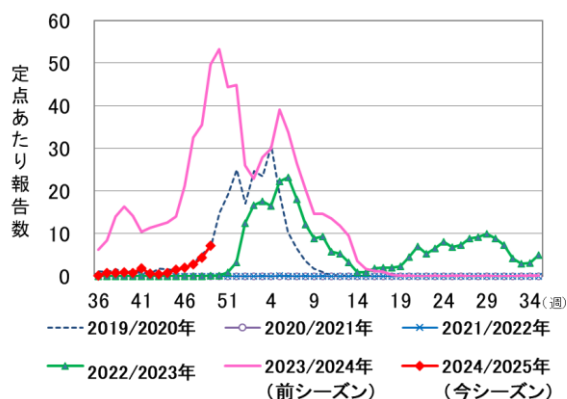
《前週との比較》



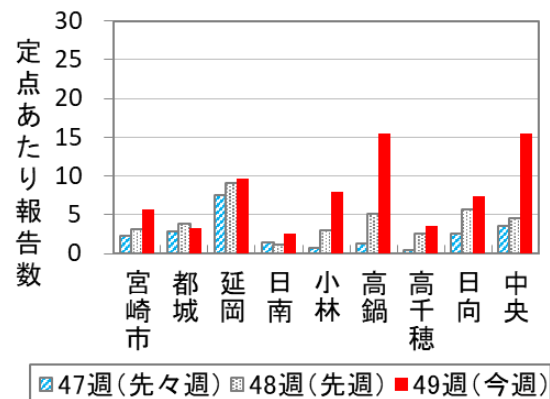
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

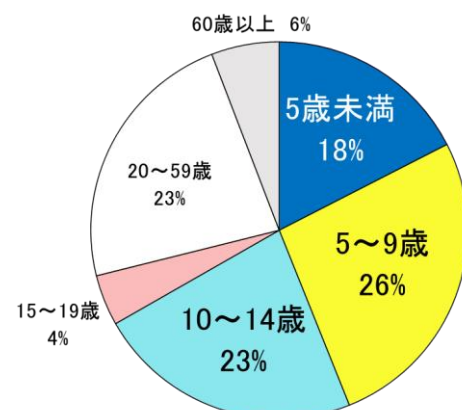
インフルエンザ 発生状況



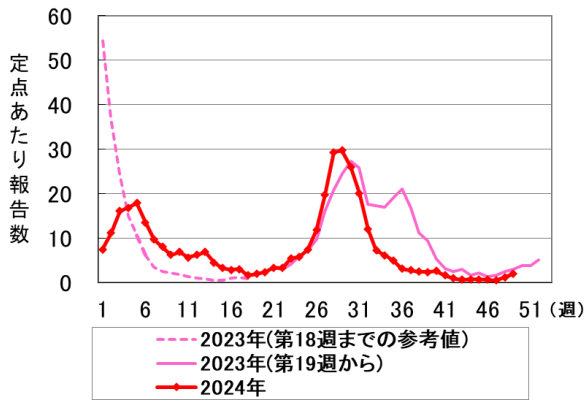
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ年齢群別グラフ(第49週)

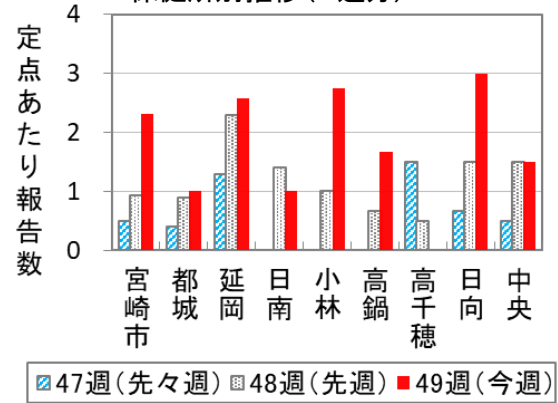


新型コロナウイルス感染症 発生状況

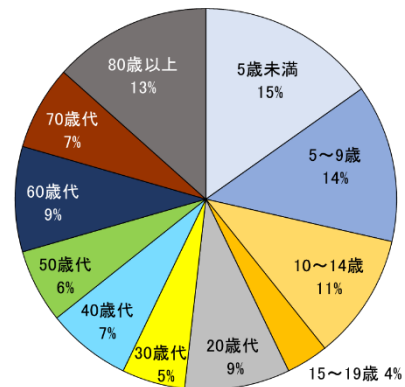


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

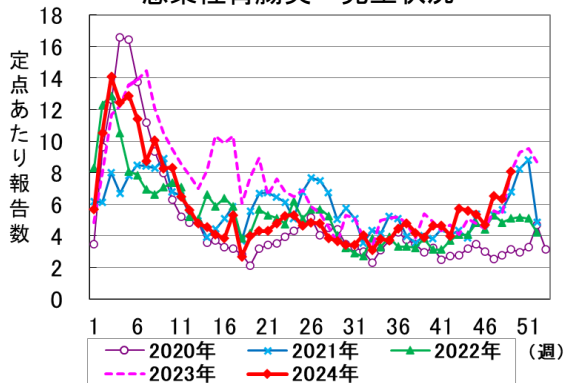
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



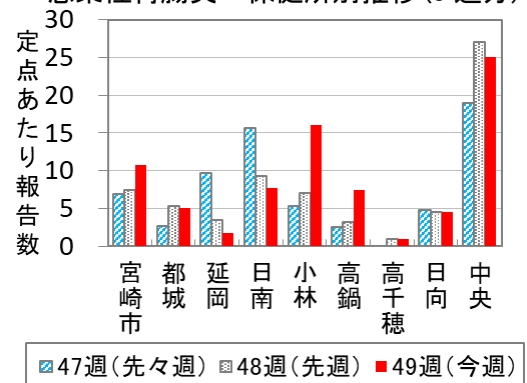
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第49週)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は19例(定点当たり2.7)で、前週比約1.2倍と増加した。日向(9例)、宮崎市(4例)、高鍋(4例)、延岡(2例)保健所から報告があった。年齢は5～9歳が10例、10～14歳が6例、0～4歳が2例、50歳代が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	伝染性紅斑(2.3)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(17.7)
小林	なし
高鍋	インフルエンザ(15.5)
高千穂	なし
日向	手足口病(5.3)
中央	インフルエンザ(15.5)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(13.0)、 感染性胃腸炎(25.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・手足口病(5)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年12月9日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:HUT)	70歳代	女	2024.11.21	なし	便	2024.12.02

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Parvo virus B19	5～9歳	女	2024.10.07	急性気管支炎、39.4℃、咽頭炎、咽頭痛、胃腸炎(腹痛)	鼻汁	2024.11.27
Coxsackievirus A16	5～9歳	女	2024.10.15	手足口病、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2024.11.26

○急性気管支炎と診断された患者から Parvovirus B19 が検出された。Parvovirus B19 は伝染性紅斑の原因病原体である。典型例では両頬に蝶形紅斑が出現することが特徴的で、リンゴのように赤くなることから「リンゴ（ほっぺ）病」と呼ばれることもある。成人では多彩な症状を呈すことから、他の疾患との臨床鑑別診断が難しい。また、本疾患の約4分の1は不顕性感染である。基本的には予後良好であるが、妊婦が感染すると、ウイルスが胎児に垂直感染し、流産や死産、胎児水腫を起こすことがある。

🇯🇵 全国 2024 年第 48 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	257 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	54 例	腸チフス	5 例		
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	17 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	8 例	日本脳炎	1 例	レジオネラ症	46 例
	レプトスピラ症	2 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	42 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	8 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	17 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	45 例	水痘(入院例)	12 例
	梅毒	187 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	4 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	139 例	風しん	1 例
	麻しん	3 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 124%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 24,027 人(4.9)で前週比 206%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.5)の約 1.9 倍であった。福岡県(11.4)、長野県(9.1)、千葉県(8.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 11,945 人(2.4)で前週比 134%と増加した。秋田県(9.5)、岩手県(8.2)、北海道(7.6)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 4 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 1,090 人(2.3)で前週比 88%と減少した。福井県(7.0)、青森県(4.7)、岡山県(4.6)からの報告が多く、本県の定点当たりの報告数は 2.3 であった。全国の年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第48週	第49週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	250	412	91	33	68	13	32	93	7	44	31
	定点当り	4.31	7.10	5.69	3.30	9.71	2.60	8.00	15.50	3.50	7.33	15.50
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	68	112	37	10	18	5	11	10		18	3
	定点当り	1.17	1.93	2.31	1.00	2.57	1.00	2.75	1.67	0.00	3.00	1.50
RSウイルス 感染症	報告数	2	1			1						
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	7	2	1	1		1			1	1
	定点当り	0.53	0.19	0.20	0.17	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	1.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	211	178	54	6	23	53	3	17	1	8	13
	定点当り	5.86	4.94	5.40	1.00	5.75	17.67	1.00	4.25	1.00	2.00	13.00
感染性胃腸炎	報告数	228	290	108	30	7	23	48	30	1	18	25
	定点当り	6.33	8.06	10.80	5.00	1.75	7.67	16.00	7.50	1.00	4.50	25.00
水 痘	報告数	3	2	1	1							
	定点当り	0.08	0.06	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	169	91	32	11	7	2	8	3	3	21	4
	定点当り	4.69	2.53	3.20	1.83	1.75	0.67	2.67	0.75	3.00	5.25	4.00
伝染性紅斑	報告数	14	18	3	4	9			1		1	
	定点当り	0.39	0.50	0.30	0.67	2.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	15	8	3		4			1			
	定点当り	0.42	0.22	0.30	0.00	1.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	3	2		1						
	定点当り	0.08	0.08	0.20	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	3		2	1						
	定点当り	0.50	0.50	0.00	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	16	19	4		2			4		9	
	定点当り	2.29	2.71	4.00	0.00	2.00	0.00	0.00	4.00		9.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週 ～49週 保健所受理分)

2類感染症	結 核	105例(1)				
	腸管出血性大腸菌感染症	42例(1)				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	つつが虫病	19例(3)	日本紅斑熱	16例(1)	レジオネラ症	16例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	20例
	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	16例
	水痘(入院例)	5例	梅 毒	153例(8)	播種性クリプトコックス症	6例(1)
	破傷風	2例	百日咳	53例		

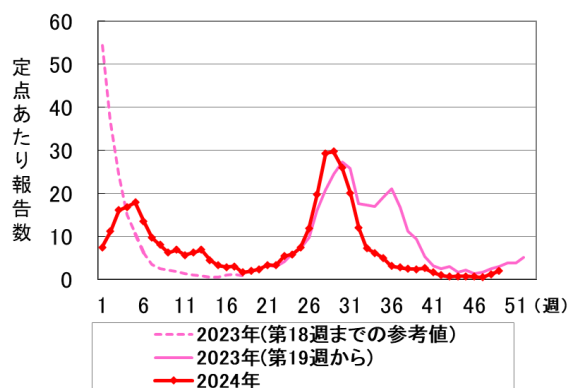
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 49 週、全国第 48 週（再掲）》

□ 県内第 49 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

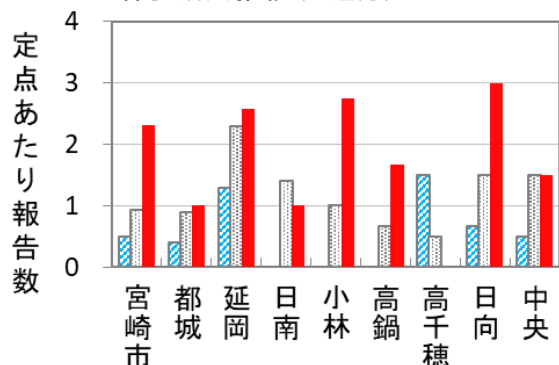
12 月 2 日～12 月 8 日までの 1 週間で 112 人(1.9)の報告があり、前週比 165%と増加した。日向(3.0)、小林(2.8)、延岡(2.6)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

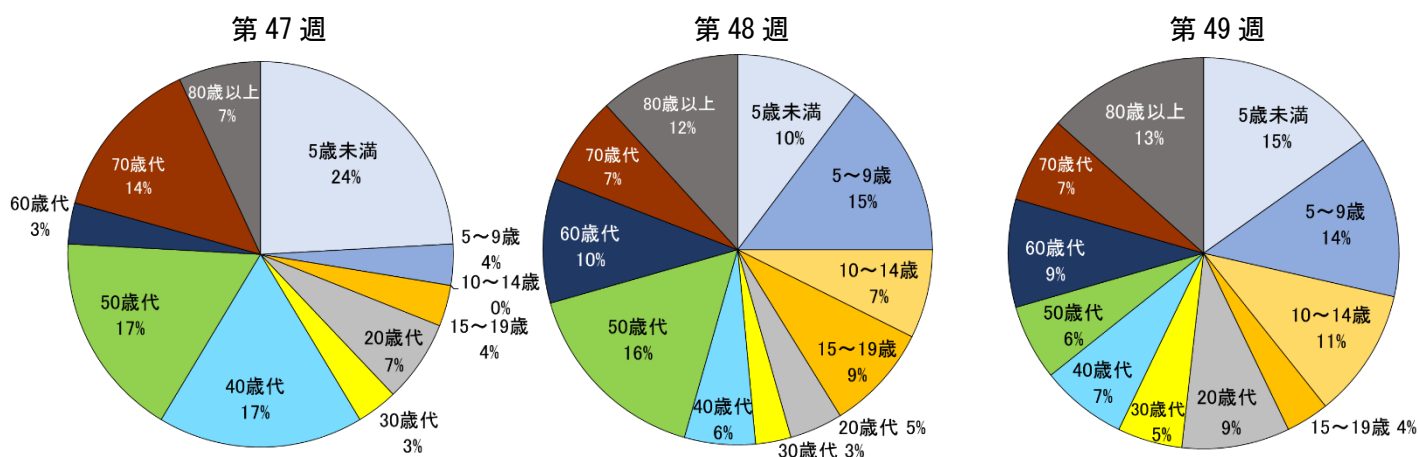


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

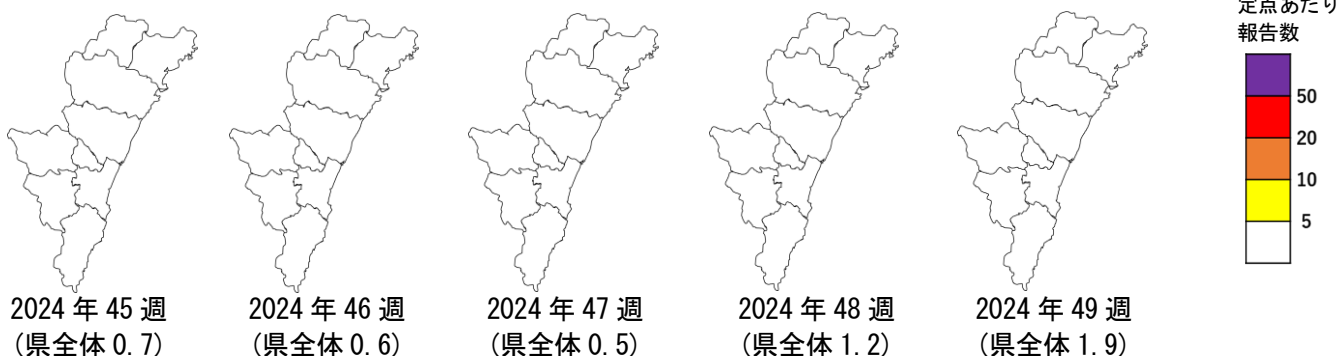
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 45 週～2024 年第 49 週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第 48 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

11 月 25 日～12 月 1 日までの 1 週間で 11,945 人(2.4)の報告があり、前週比 134%と増加した。秋田県(9.5)、岩手県(8.2)、北海道(7.6)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 4 割を占めた。